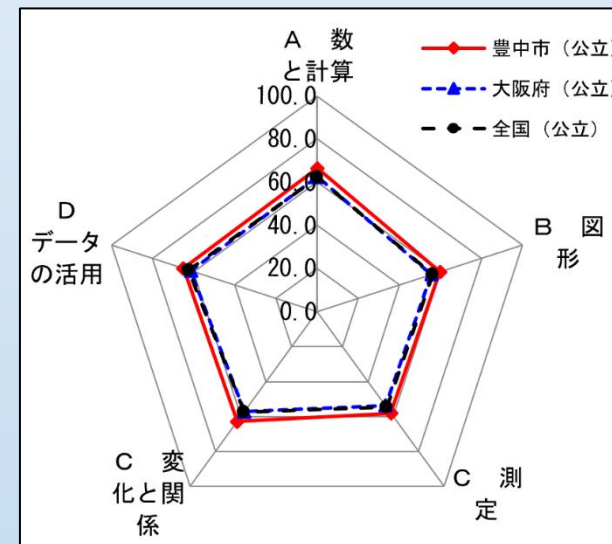


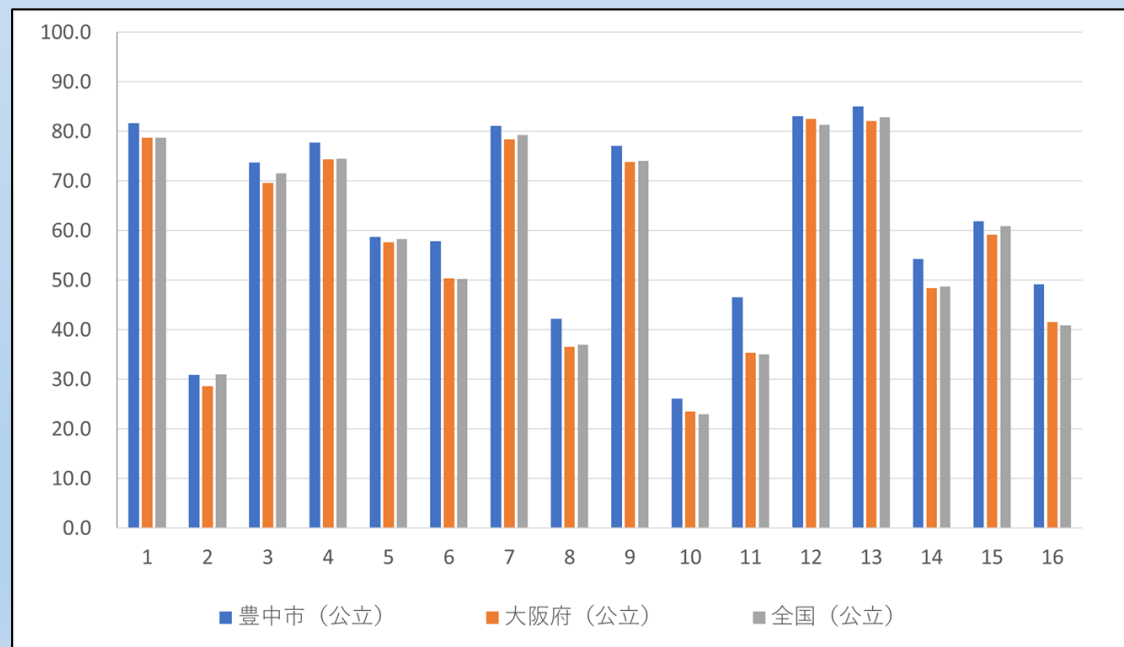
小学校 算数

【学習指導要領の内容の平均正答率（％）】

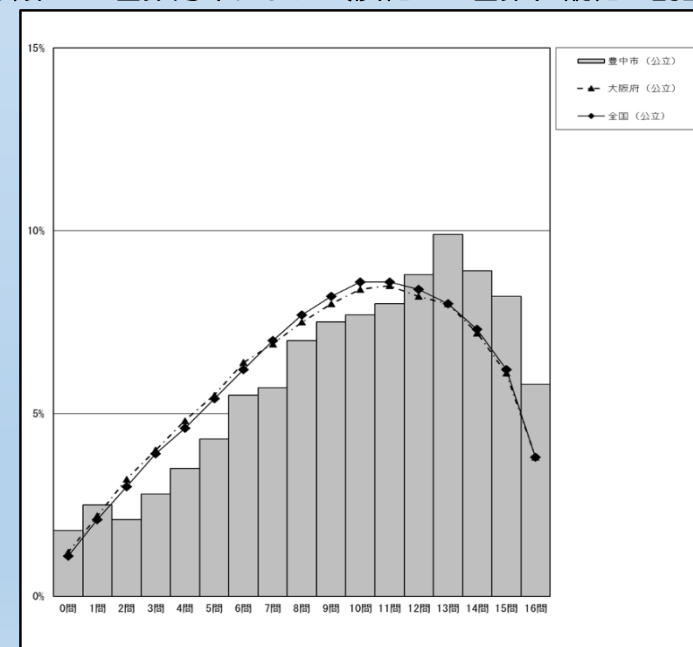
分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			豊中市（公立）	大阪府（公立）	全国（公立）
全体		16	62	58	58.0
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	66.4	62.4	62.3
	B 図形	4	59.9	55.7	56.2
	C 測定	2	58.1	53.8	54.8
	C 変化と関係	3	62.8	57.3	57.5
	D データの活用	5	65.1	61.5	62.6
評価の観点	知識・技能	9	69.1	65.1	65.5
	思考・判断・表現	7	52.2	47.9	48.3
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	6	71.4	66.8	67.2
	短答式	6	67.5	63.8	64.0
	記述式	4	38.4	34.3	34.9



【算数 正答率（％）【設問ごと】（横軸：設問、縦軸：正答率）】



【算数 正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）】



示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算する問題は比較的できていますが（１（４））、分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述する問題に課題があります（３（２））。

【問題別集計結果】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	正答率(%)			無解答率(%)		
			豊中市立(公立)	大阪府(公立)	全国(公立)	豊中市(公立)	大阪府(公立)	全国(公立)
1(1)	2022年の全国のブロッコリーの出荷量が2020年の全国のブロッコリーの出荷量の約何倍かを、棒グラフから読み取って選ぶ	棒グラフから、項目間の関係を読み取ることができるかをみる	81.7	78.7	78.7	0.8	0.4	0.4
1(2)	都道府県Aのブロッコリーの出荷量が増えたかどうかを調べるために、適切なグラフを選び、出荷量の増減を判断し、そのわけを書く	目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかをみる	30.9	28.6	31.0	1.2	0.9	0.9
1(3)	示された表から、「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」の出荷量が多い都道府県を選ぶ	簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができるかをみる	73.7	69.6	71.6	4.4	4.1	3.5
1(4)	示された資料から、必要な情報を選び、ピーマン1個とブロッコリー4個の重さを求める式と答えを書く	示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算することができるかをみる	77.7	74.4	74.5	3.2	2.7	2.6
2(1)	示された平行四辺形をかくために、コンパスの開く長さを書き、コンパスの針を刺す場所を選ぶ	平行四辺形の性質を基に、コンパスを用いて平行四辺形を作図することができるかをみる	58.7	57.6	58.3	1.8	1.2	1.2
2(2)	方眼上の五つの図形の中から、台形を選ぶ	台形の意味や性質について理解しているかをみる	57.8	50.4	50.2	1.5	0.7	0.7
2(3)	角をつくる二つの辺をそれぞれのばした図形の角の大きさについてわかることを選ぶ	角の大きさについて理解しているかをみる	81.1	78.4	79.3	1.8	1.0	1.0
2(4)	五角形の面積を求めるために五角形を二つの図形に分割し、それぞれの図形の面積の求め方を書く	基本図形に分割することができる図形の面積の求め方、式や言葉を用いて記述できるかをみる	42.2	36.6	37.0	4.0	2.7	2.7
3(1)	0.4+0.05について、整数の加法で考えるときの共通する単位を書く	小数の加法について、数の相対的な大きさを用いて、共通する単位を捉えることができるかをみる	77.1	73.8	74.1	4.2	3.0	2.8
3(2)	$3/4 + 2/3$ について、共通する単位分数と、 $3/4$ と $2/3$ が、共通する単位分数の幾つ分になるかを書く	分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかをみる	26.1	23.5	23.0	16.3	15.4	15.7
3(3)	数直線上に示された数を分数で書く	数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えることができるかをみる	46.6	35.4	35.0	8.2	7.9	7.8
3(4)	$1/2 + 1/3$ を計算する	異分母の分数の加法の計算をすることができるかをみる	83.1	82.5	81.3	5.3	4.2	4.1
4(1)	新品のハンドソープが空になるまでに何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を選ぶ	伴って変わる二つの数量の関係に着目し、必要な数量を見いだすことができるかをみる	85.0	82.1	82.8	3.9	2.6	2.6
4(2)	使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を判断し、求め方を書く	伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述できるかをみる	54.3	48.4	48.7	4.5	3.6	3.4
4(3)	はかりが示された場面で、はかりの目盛りを読む	はかりの目盛りを読むことができるかをみる	61.9	59.2	60.9	5.3	4.4	4.2
4(4)	10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを学ぶ	「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができるかをみる	49.2	41.5	40.9	5.1	4.2	4.1

豊中の子どもたちの
課題が見られた問題 ①

豊中の子どもたちの
強みが見られた問題

豊中の子どもたちの
課題が見られた問題 ②





— ここがポイント —

様々なグラフの特徴を理解し、目的に応じて複数のグラフから適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え判断し、その判断の理由を他者に分かりやすく表現できるようにすることが重要です。例えば、本設問を用いて「2023 年の北海道のブロッコリーの出荷量が 2013 年より増えたかどうか」について判断し、その判断の理由について説明する活動が考えられます。その際、データの中の数量の大きさの違いを一目で捉えることができるという棒グラフの特徴や、複数のデータについて項目の割合を比較することができるという帯グラフの特徴を理解できるようにすることが大切です。さらに、各帯グラフの量の合計が異なっている複数の帯グラフについては、同じ項目で比較する場合、割合が小さい方が実際の量としては大きいことがあるなど、見た目では量の大小が比較できないことを理解できるようにすることも大切です。

【正答の条件】

記号をアと選び、次の①、②の全てを書いている。

- ① グラフ3に着目したことを表す言葉
- ② 2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より多いことを表す言葉や数

正答	解答類型		豊中市	大阪府	全国
	記号	わけ			
◎	ア と解答	①、②の全てを書いているもの	30.9%	28.6%	31.0%
		①を書いているもの	24.7%	21.4%	21.1%
		②を書いているもの	5.0%	5.4%	5.4%
		類型 1 から類型 3 以外の解答	12.8%	15.9%	14.5%
		無解答	2.6%	2.9%	2.8%
	イ と解答	都道府県Aのブロッコリーの出荷利用の割合について書いているもの	16.2%	18.1%	18.0%
		類型6以外の解答	3.7%	4.4%	4.0%
		無解答	1.2%	1.3%	1.3%
	上記以外の解答		1.6%	1.1%	1.2%
	無解答		1.2%	0.9%	0.9%

② あいりさんは、自分たちが住んでいる都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかを調べています。調べていると、2013 年と 2023 年について、右のグラフ2とグラフ3を見つけました。



グラフ2とグラフ3を見つけたけれど、どちらか1つのグラフを見れば、都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかわかります。

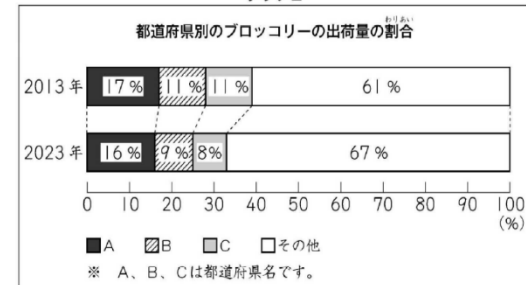
2023 年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013 年より増えたかどうかを、下の ア と イ から選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかわかるようにしましょう。

ア 2023 年は 2013 年より増えた。

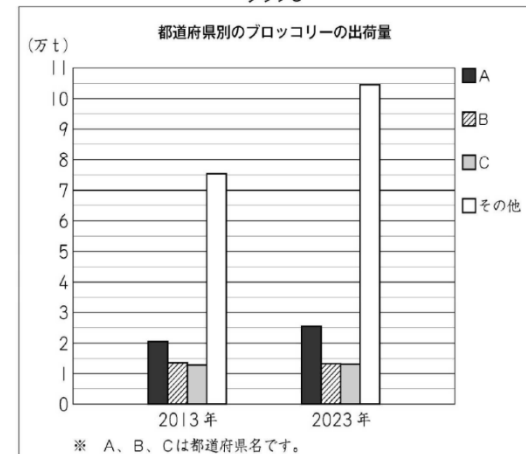
イ 2023 年は 2013 年より減った。

グラフ2



(作物統計調査による。)

グラフ3



(作物統計調査による。)

【正答例】

【記号】ア

【わけ】グラフ3を見ると、2013年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量は約2万t、2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量は約2.5万tで2023年のほうが多いです。だから、都道府県Aのブロッコリーの出荷量は増えています。

小学校
算数

【問題番号】 3 (2)

豊中の子どもたちの
課題が見られた問題 ②

【正答率】 26. 1% (豊中市)
23. 5% (大阪府)
23. 0% (全 国)

【出題の趣旨】

分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が、共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる



— ここがポイント —

分数の加法について、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目して、共通する単位分数を見だすことで、既習の整数の加法に帰着できるようにすることが重要です。例えば、本設問を用いて、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について、加数と被加数の単位分数に着目して、既習の整数の加法に帰着できるのかを考察する活動が考えられます。その際、同分母の分数の加法では単位分数の幾つ分とみることで整数の加法に帰着することができますが、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ は $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ の単位分数が、 $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{3}$ と異なっているため、そのままでは整数の加法に帰着できないと気付くことができるようにすることが大切です。その上で、 $\frac{3}{4}$ は $\frac{9}{12}$ 、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{8}{12}$ とすると $\frac{1}{12}$ を共通する単位分数として、 $\frac{9}{12}$ は $\frac{1}{12}$ の 9 個分、 $\frac{8}{12}$ は $\frac{1}{12}$ の 8 個分と表すことができることから、 $9 + 8$ という整数の加法に帰着できることに気付くことができるようにすることが大切です。

【正答の条件】

次の①、②、③の全てを書いている。

- ① $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ に共通する単位分数が、 $\frac{1}{12}$ であることを表す数や言葉（分母が 12 の倍数の単位分数を含む）
② $\frac{3}{4}$ が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉
③ $\frac{2}{3}$ が共通する単位分数の幾つ分かを表す数や言葉

正答	解答類型	豊中市	大阪府	全国
◎	①、②、③の全てを書いているもの	26.1%	23.5%	23.0%
	②、③を書いているもの	0.4%	0.3%	0.3%
	①、②を書いているもの			
	①、③を書いているもの	0.6%	0.5%	0.5%
	①を書いているもの	5.7%	5.4%	6.1%
	②を書いているもの			
	③を書いているもの	1.0%	1.0%	1.0%
	通分について書いているもの	28.4%	27.7%	26.2%
	$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分であることと、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分であることの両方、又はどちらか一方を書いているもの	3.2%	4.4%	4.4%
	上記以外の解答	18.4%	21.9%	22.8%
	無解答	16.3%	15.4%	15.7%

(2) ひろとさんたちは、分数のたし算についても、小数で考えたようにふり返っています。

まず、みおりさんは、 $\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ についてまとめています。



みおり

$\frac{2}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 2 個分、 $\frac{1}{5}$ は $\frac{1}{5}$ の 1 個分です。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ の計算は、 $\frac{1}{5}$ をもとにすると、 $2 + 1$ を使って考えることができます。

$\frac{2}{5} + \frac{1}{5}$ は、もとにする数を $\frac{1}{5}$ にすると、整数のたし算を使って計算することができます。

次に、ひろとさんは、 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について考えています。



ひろと

$\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{4}$ の 3 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{3}$ の 2 個分です。

もとにする数が $\frac{1}{4}$ と $\frac{1}{3}$ でちがうので、同じ数にしたいです。

$\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ についても、もとにする数を同じ数にして考えることができます。

もとにする数を同じ数にするとき、その数は何になりますか。その数を書きましょう。また、 $\frac{3}{4}$ はその数の何個分、 $\frac{2}{3}$ はその数の何個分ですか。数や言葉を使って書きましょう。

【正答例】

・ $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ のもとにする数を同じ数にするとき、その数は $\frac{1}{12}$ になります。 $\frac{3}{4}$ は $\frac{1}{12}$ の 9 個分、 $\frac{2}{3}$ は $\frac{1}{12}$ の 8 個分です。



— ここがポイント —

問題を解決するために、示された資料から、必要な情報を選び、数量の関係を式に表すことができるようにすることが重要です。指導に当たっては、例えば、本設問を用いて、それぞれの野菜の70gの目安が示された資料から、自分が何gの野菜を食べたのかを調べる活動が考えられます。その際、示された資料から、必要な情報を選び、それと自分が食べた野菜の数量の関係を捉え、式に表すことができるようにすることが大切です。また、四則の混合した式について、計算の順序のきまりを理解し、正しく計算できるようにすることも大切です。

正答	解答類型	式	答え	豊中市	大阪府	全国
◎	70÷2+70と解答 (注意) 一つの式(総合式)で表されていない式も許容する。		105と解答しているもの 105以外を解答しているもの 無解答	77.7%	74.4%	74.5%
	70+70と解答しているもの 70×2と解答しているもの			2.2%	3.3%	3.1%
	70+70×4と解答しているもの			1.4%	1.6%	1.6%
	70×2+70×4と解答しているもの			0.3%	0.3%	0.3%
	350を用いた式を解答しているもの			1.3%	1.6%	1.6%
	類型1から類型6以外の解答		105と解答しているもの	2.9%	2.3%	2.1%
	無解答		105と解答しているもの 105以外を解答しているもの	0.1%	0.1%	0.1%
	上記以外の解答			8.6%	11.3%	11.3%
	無解答			3.2%	2.7%	2.6%

(4) 指定野菜について調べていたあいりさんたちは、1人が1日に食べる野菜の量の目標は350gと知り、下の資料を見つけました。

70gってどれくらい?
それぞれの野菜の70gの目安

きゅうり 1本分で70g	オクラ 8本分で70g	ブロッコリー 4個分で70g
ピーマン 2個分で70g	アスパラガス 3本分で70g	にんじん 3cm分で70g

1日に野菜を350g食べよう!



例えば、きゅうりを1本食べたとしても、70gの野菜を食べたことになりますね。



ピーマン1個とブロッコリー4個を食べたら、何gの野菜を食べたと考えることができるのかな。

上の資料をもとにすると、ピーマン1個とブロッコリー4個を食べたとき、何gの野菜を食べたと考えることができますか。
求める式を書きましょう。また、答えも書きましょう。

※この調査の結果は、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。

